

戸開走行保護装置

定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号

ENNNUN-1610,1611,1612,1613

UCMP 型式

DBGLT-1,2,

DBGJT-1,DBGPT-2 型

ENNNUN-2092,2093,2094,2095

DBGLT-1A,2A,

DBGJT-1A,DBGPT-2A 型

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver.2

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準	
(1)	巻上機	制動面	油の流出状況	制動面を目視にて確認する	制動面への油の付着があること
		油流出場所		グリースの排出場所を目視にて確認する	シール部からの油漏れがあること
		ブレーキ	制動力の状況	両側ブレーキによる無負荷上昇時のかご制止距離を測定する	特定距離を超えて停止すること 年次変化量が規定値を超えていること
			パッドの厚さの状況	可動鉄心と固定鉄心間のすき間を測定する	ストロークが下記を超えていること 0.4 mm (要重点点検) 0.45 mm (要是正)
(2)	ブレーキパッドの動作感知装置	作動の状況	開放、締結時の接点信号を保守ツールにて確認する 走行時の音を聴診にて確認する	ブレーキの開閉と接点の開閉が所定の位置以外で行われること 接点が開いている時パッドとディスクが接触していること	
(3)	UCMP 盤	取付の状況	触診にて確認する。	取付けが強固でないこと	
(4)	電磁接触器 (SR1, SR2)	健全性の監視の状況	保守ツールにて常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	機器故障と判定され、制止すること	
		劣化の状況	動作回数又は経年を確認する。	設置後の動作回数が規定回数到達時、又は設置後 10 年を経過していること。 動作回数 SR1:200 万回 SR2:50 万回	
(5)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムのバージョンを保守ツール又は目視にて確認する。	大臣認定を受けたものと同一でないこと プログラム型式：31588 (ENNNUN-1610) 31588AAB (ENNNUN-2092)	
(6)	速度監視装置	作動の状況	保守ツールにて動作速度を測定する	18 m/min を超えた速度でフラグが立たないこと	
(7)	特定距離感知装置	作動の状況	保守ツール又は目視にて動作位置を確認する	規定値外で動作すること 特定距離： 着床位置上下 105mm (±15 mm 以内)	
(8)	つま先保護板	外見の状況	取付状況：触診にて確認する	取付が強固でないこと	
			外見の状況：目視にて確認する	著しい変形・破損・錆・腐食があること	
		長さの状況	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを巻尺等により測定する	規定値寸法未満であること 規定値： 675 mm	
上記 (1) ~ (8) の検査結果で「否」又は別記第一号 3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。					

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社